

第 5 学 年 家 庭 科

教科目標

- ① 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心高め、その大切さに気付くようにします。
- ② 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにします。
- ③ 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てます。

学習計画

月	単元・題材名	時数	学習活動
4	○ さあ、家庭科を学びましょう	1	・ これまでの自分の成長を見つめ、2年間の学習の見直しをもつ。
	○ 見つけてみよう わたしと家族の生活	1	・ 1日の生活をふり返り、家族とのかかわりや生活のしかたを見つめ、できるようになったことを話し合う。
5	○ はじめてみよう クッキング ・ クッキング はじめの一步 ・ ゆでてみよう ・ ゆで野菜のサラダをつくろう	8	・ 湯をわかしたり、調理の手順や調理器具について調べたりする。 ・ たまごをゆでたり、青菜をゆでたりする。 ・ ゆで野菜サラダの計画を立て、調理する。
	○ はじめてみよう ソーイング ・ 針と糸にチャレンジ ・ 楽しい小物づくり	9	・ 針と糸を使って、玉結びや玉どめなどをする。 ・ いろいろな縫い方を調べ、小物の製作をする。
7	○ かたづけよう 身の回り ・ 生活している場所に目を向けよう ・ 整理・整とんをくふうしよう	3	・ 整理・整とんが必要な理由について話し合う。 ・ 身の回りを工夫しながら整理・整とんする。
9	○ できるようになったかな 家庭の仕事 ・ わたしにできる家庭の仕事を増やそう ・ 家族に協力して仕事をしよう	2	・ 家庭にはどんな仕事があるか話し合う。 ・ 工夫しながら継続的に実行できるよう自分にできる仕事を考える。
	○ わくわくミシン ・ ミシンぬいにチャレンジ	11	・ ミシンを安全に操作し、直線縫いをする。
10	・ 計画を立てて、つくってみよう		・ 布について調べ、計画を立てて、製作する。
11	○ 元気な毎日と食べ物 ・ どんな食品を食べているだろう ・ 五大栄養素のはたらきと食品のグループ ・ バランスのよい食事をしよう ・ ごはんとみそしるをつくろう	11	・ 毎日食べている食品を調べ、3つのグループに分ける。 ・ 食品に含まれる五大栄養素と体内でのおもなはたらきについて理解する。 ・ バランスのよい食事について考える。 ・ 伝統的な食事に欠かせないごはんとみそ汁の調理をする。
	○ じょうずの使おう 物やお金 ・ 物やお金の使い方を見直そう ・ 買い物のしかたを考えよう	4	・ 物やお金の使い方をふり返り、じょうずな買い方について話し合う。 ・ じょうずな買い物をするために、食品や衣服を買うときに気をつけることを調べる。
12	○ 寒い季節を快適に ・ あたたかい着方をくふうしよう ・ あたたかく明るい住まい方をくふうしよう	6	・ 寒い季節を快適にするための着方や住まい方の工夫について考え、話し合う。 ・ 日光の役割を考えたり、あたたかく過ごす方法を調べたりする。
	○ 家族とホットタイム ・ 楽しい団らん ・ つながりを深めよう	3	・ 家族とのふれあいや団らんをした経験について話し合う。 ・ 団らんをもつ計画を立てる。
3	○ 家庭科の学習をふり返り、生かそう	1	・ 1年間の学習をふり返り、学習したことやできるようになったことを確認し合う。
授業時数の合計		60時間	

家庭科の評価

観点	評価基準	評価方法
家庭生活への 関心・意欲・態度	自分の生活と衣食住や家族の生活などについて関心をもち、その大切さに気付き、家族の一員として家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとしているかどうかという観点から見ます。	・ 学習中や実習中の態度
生活を創意工夫 する能力	衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりしているかどうかという観点から見ます。	・ 発表内容、発表の様子 ・ 作品 ・ テスト ・ 家庭科ワーク
生活の技能	生活の自立の基礎として日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技能を身に付けているかどうかという観点から見ます。	など、総合的に評価しま
家庭生活について の知識・理解	家庭生活を支えているものや大切さを理解し、日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けているかどうかという観点から見ます。	す。